

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7235）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第7回鳥取県総合芸術文化祭開催事業	50,306	54,954	△4,648			15,000	35,306	
トータルコスト	94,217千円（前年度97,049千円）							
従事する職員数	正職員：5.3人							
主な業務内容	総合芸術文化祭の実施に向けた、各委員会の開催及び連絡調整、広報、予算執行管理							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要</p> <p>県内の文化活動のすそ野を拡大するとともに、地域に根ざした創造性の高い文化芸術活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的として開催される「第7回鳥取県総合芸術文化祭」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会に対して助成する。</p> <p>2 平成21年度事業</p> <p>(1) 期間 平成21年9月県展開幕日～11月末日（予定）</p> <p>(2) 場所 とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子市公会堂など県下全域</p> <p>(3) 実施主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会</p> <p>(4) 内容</p>								
区分	事業費	内容						
【メイン事業】 「新・朝日座（仮称）」	27,154	<p>◇県内各地の独自文化の特性を活かし、文化の継承・発展、新しい文化芸術の創造を県内外に向けて発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のメイン事業は「新・朝日座」と題し、米子市公会堂、公会堂駐車場、商店街、朝日町などのまち全体で様々な催しを展開する。 ・「新・朝日座」の目玉として上演する新作歌舞伎「名和長年」の舞台制作を(財)県文化振興財団に委託。 						
【アートマネージャー育成事業】	7,440	<p>◇鑑賞者に魅力的な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、県内の文化芸術活動を支える人材「アートマネージャー」の発掘と育成をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全県域から3事業の企画を公募。委託事業として、県民に鑑賞の機会を提供する。 ＜事業経費：1,800千円×3事業＞ ②アートマネジメント研修会を年6回開催。 ＜事業経費：1,140千円＞ ③地区独自の事業の企画・運営の中心を担うアートマネージャーを配置し、各地区企画運営委員会の活性化を図る。 ＜報償費：300千円×3人＞ 						
各地区企画運営委員会自主企画事業	5,210	<p>◇各地区会場において、各種ワークショップ、ステージ発表、展示など県民が気軽に文化芸術を体験、鑑賞できる機会を提供し、文化芸術のすそ野を拡大を図る。また、会場外にも出向き、文化芸術普及活動を併せて行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公募により県民が実施する参加体験型事業 ＜経費：50千円×20事業×3地区＞ ②各地区企画運営委員会が自ら行う事業 ＜経費：170千円×3地区＞ 						
広報費、運営事務費（実行委員会、評価委員会及び事務局運営費）	10,502	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の参加・鑑賞を促すきめ細かな広報活動のための経費。（6,000千円） ・実行委員会、評価委員会及び事務局の運営に要する経費。（4,502千円） 						